



# 大砂土中だより

はつ らつ

## 澆 刺 と



さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.5 令和7年8月28日号

## 快活なあいさつ

～2学期を盛り上げよう～

校長 倉林 弥生

39日間の夏休みが終了しました。2学期にまた皆さんに会えたことを大変嬉しく思いますし、元気に学校生活が始まったことに感謝しています。この夏は、毎日が猛暑日で、ついに気温が40度を超すという日もあり、「猛暑」以上の暑さを表す、「酷暑」という言葉も、しばしば聞かれる日々でした。



3m20を跳んだ瞬間の伊藤さん

このような中、県学校総合体育大会をはじめ、様々な大会が開催され、団体戦、個人戦または市の代表等として多くの仲間たちが気合を入れて、それぞれ参加しました。まずは、参加した皆さんの頑張りを心から、たたえたいと思います。

特に第53回関東中学校陸上競技大会の女子棒高跳では、1年生の伊藤来莉さんが3m20を跳び、見事、2位となりました。また文化部では、吹奏楽部が第66回県吹奏楽コンクール地区大会で金賞を受賞し、さらに同コンクールの県大会に出場して銅賞を受賞しました。(演奏曲は、BU-GA-KUです)大砂土中学校吹奏楽部の県大会出場は、21年ぶりの快挙となります。

納得できる結果を残せた人たちもいれば、そうでなかった人たちもいます。しかし、たとえ納得のいく結果でなかったとしても、ここまで続けて頑張ってきたこと、一緒に頑張った仲間、そこから得た全てのことが一生の宝になることを忘れないでください。そして、ここまで育んできた力を支えとして、これからも様々なことに挑戦する心を持ち続けてほしいと思います。

いよいよ長い2学期が始まりました。皆さんが、また新たに目標を立て、前向きに活動していく原動力として、もう一度「あいさつ」について本気で考えてほしいと思います。

「あいさつ」とは、必ずしも大きな声で行うものではありません。その場の雰囲気に応じて行うのが「快活なあいさつ」です。例えば、全校で集まるような場では、個人差はあっても各自の最大の声で行うのが「快活なあいさつ」です。また普段誰かとすれ違う時などは、大声ではなく、自然な声で行うのが「快活なあいさつ」です。さらに、例えば、校長の私が皆さんの授業の様子を見るために、教室入ってきた場合などは、小声でもよいのですが、授業中ですから声を出さなくても、そっと会釈するのも「快活なあいさつ」です。

私は、普段より自分から先にあいさつすること心掛けています。なぜなら、先にあいさつをすることで清々しい気持ちになる上、それ以上に「先にあいさつをもらおう」方が、何倍も嬉しい気持ちになれるからです。いちばん残念なのは、あいさつをするすきも無く、通過されてしまったり、こちらから声をかけても無反応だったり、という場面に遭遇した時です。

「あいさつ」は、人と人が交わすものです。結論は、どちらが先でもかまいません。最終的にお互いが心地良い気持ちになることが大切なことなのだと思います。

2学期は、合唱コンクールをはじめ、皆さんが活躍できるたくさんの機会があります。ぜひ、皆さんの「快活なあいさつ」で、学校中を元気に盛り上げ、充実した学期にしましょう。